

★第9回熱測定講習会報告

表題の講習会が本学会主催で昭和59年3月15、16両日にわたり大阪商工会館(大阪市東区)で行われた。「初心者のための熱分析」をテーマに、熱分析概論、DTA、DSC、TGの応用に関する8つの講演が行われ、参加者に有益な知見を提供した。案内発送を地域的に限定したにもかかわらず65名の参加者があり、その内訳は化学工業一般(製薬、食品、繊維を含む)、電気、金属、窯業等の多岐にわたった。これは熱測定法に対する最近の関心の高まりの反映であるとともに、第1回から今回にいたる講師の方々の努力によって本講習会の有用性が広く知られるようになったことを示す。講習会場に隣接する部屋では熱分析機器5社による展示と実演が行われた。

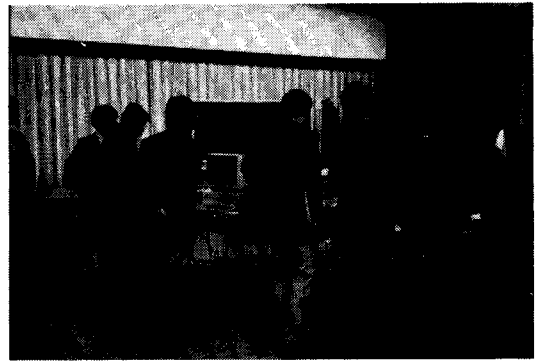


参加者は実動状態の装置に触れ、またメーカー各社から新しい情報を得ることができた。

講師と講演題目は次の通りである。上出健二氏(熱分析で何がわかるか)、畠山立子氏(DSC、DTAの原理と測定法)、佐藤太一氏(TGの原理と測定法)、作花済夫氏(ガラス、アモルファス半導体、アモルファス金属の熱分析)、高木定夫氏(熱分析による純度の決定)、有本安男氏(医薬品への応用)、古賀邦正氏(食品への応用)、十時稔氏(高分子材料への応用)。また展示メーカーは次の通りである。

シイベル機械、島津製作所、真空理工、セイコー電子工業、理学電機(五十音順)

御協力下さった講師の方々とメーカー各社に深く感謝します。(企画幹事 松尾隆祐)



★ICTA(国際熱分析連合) ニュース

8th ICTA(第8回国際熱分析会議)

8th ICTAは、1985年8月19日から23日まで、チェコスロバキヤのBratislavaで開催されることに正式に決定した。第1回アナウンスメントが配布中で、アブストラクトと予備登録の申込期限は1984年6月30日である。

照会先 Organizing Committee of the 8th ICTA
c/o Slovak Technical University
81243 Bratislava
Czechoslovakia

ICTA賞と受賞候補者の推薦

(1) 若手研究者賞: 国際熱分析会議に出席し、熱分析の分野を含む研究結果を盛り込んだ論文を単独名で発表する若手研究者のために新設されることになった。これは同会議出席のための経済的援助を伴うもので、会議開催年の12月31日で35才以下という年齢制限がある。

(2) DuPont賞: 熱分析の科学に顕著な貢献のあった者、熱分析の職業分野で大きな指導力を発揮し、傑出し

た寄与をした者に与えられる。賞金1000ドルのほか、授与されるICTA会議出席のための旅費が贈られる。

(3) 上記二つのICTA賞については、日本代表のICTA councillorとして、受賞候補者を1984年9月30日までに指名しなければならないので、適任者を8月10日までに推薦していただきたい。ICTA全般に関する問い合わせを含めて、連絡先は下記のとおりである。

〒227 横浜市緑区長津田町4259
東京工業大学工業材料研究所
斎藤安俊(Tel. 045-922-1111 内線2308)

その他

1984年6月、オランダのAmsterdamで開催される1984-World Conference on Thermal Analysisに対してICTAがとる態度については、本誌Vol. 10, No. 2(1983)で説明したとおりであることに留意していただきたい。